

サンドさんと 裁判所探訪



ようこそ！裁判所へ

裁判所は、社会の中で生じる紛争を中立・公平な立場から解決する重要な役割を担っています。とはいえ、そのような裁判所を支える仕事の実際については、ご存じない方も多いかもかもしれません。今回は、大人気のサンドウィッチマンのお二人に裁判所の中を巡っていただき、「生の裁判所の姿」をご覧くださいました。

サンドウィッチマン

伊達みきおさん（左）
富澤たけしさん（右）
のコンビ。
M-1グランプリ 2007
優勝。多数のテレビ番
組に出演するお茶の間
の人気者。二人揃って
仙台市出身で「みやぎ
絆大使」を務めるなど
東北地方への貢献でも
知られている。



訪れたのは

東京都千代田区霞が関に
ある東京地方裁判所、東京
家庭裁判所です。
首都を管轄する裁判所と
して常に多数の事件を
扱っています。
見学や裁判傍聴について
は、裁判所ウェブサイト
でご案内しています。
写真：東京高等・地方・
簡易裁判所合同庁舎



民事裁判



裁判官の法服（ほうふく）を着て、裁判官席に座っていただきました。

大谷 裁判所に来るのは初めてですか。

伊達 初めてです。

大谷 では、民事裁判や刑事裁判という言葉聞いたことはあるでしょうか。

富澤 何となく聞いたことがあるくらいです。

大谷 この法廷で行うのは民事裁判です。例えば、貸したお金を返してほしいといった、市民生活で生じるさまざまな紛争を取り扱います。

伊達 なるほど。

大谷 例えば、富澤さんが伊達さんに100万円を貸したけれど返してくれないので訴えたとします。裁判所は、お二人の言い分を聞いたり、証拠を見たりして判断をしますが、この場合、どんなものが証拠になるでしょうか。

富澤 しやくようしょ借用書とかでしょうか。

大谷 そうですね。ほかに、実際の裁判では しょうにん 証人や とうじしゃほんにん 当事者本人の話も証拠になります。伊達さん、証人の せんせい 宣誓をやってみませんか。



声に出して読んでください。

宣誓書!? これは嘘つけないね。

< 私たちのご案内します! >



宮島書記官



大谷裁判官



大塚事務官

伊達 (裁判官席に着席しながら) ここには誰が座るんですか。

大谷 いずれも裁判官です。普通の裁判は1人でやることが多いですが、複雑な事件になると3人の裁判官で担当します。ここから見る法廷の景色はどうですか。

伊達 何か裁きたくなってきましたね。裁判官席の前にいらっしゃる方はどなたですか。

宮島 さいばんしょしょきかん 裁判所書記官(書記官)です。書記官は法廷を円滑に進行するためのマネジメントをしています。

富澤 マネジメント?

宮島 必要な書類がちゃんと出ているか、また、当事者双方に裁判の日に来てもらうよう呼出しができているかなどをチェックしています。

伊達 裁判の中で笑いが起きたりすることもあるんですか。

大谷 例えば、当事者双方が合意して「わかい和解」という形で終わるような場合には、笑顔で事件を終えることもあります。円満に事件を終えられたときは、非常にやりがいを感じます。

裁判では証言をする前に、嘘をつかないという宣誓をしてもらいます。

刑事裁判

< 私たちのご案内します！ >



野原
裁判長



佐藤
裁判官



渡邊
事務官



佐々木
書記官



弁護します！

ここ被告人席でしょ？

—刑事裁判のうち法律で一定の重い刑が定められている罪の裁判は、国民の中から選ばれた裁判員と裁判官と一緒に審理・判断をする裁判員裁判によって行われます。

伊達 (法廷を見渡しながら) ここで被害者と被告人が出会うわけですね。被害者の中には被告人に対してすごく怒っている人もいるでしょう。

佐藤 そうですね。手続の中で被害者の方の心情などを聞くと、やはりそういう強い思いを感じるときもあります。

伊達 そうですね。ところで、佐藤さんは裁判官になってまだ1年目ですよ。昔から裁判官になるのが夢だったんですか。

佐藤 そうなんです。迷ったこともありましたが、人生の中で法的な問題を抱えるという重大な場面で、後から振り返ったときに良かったと思ってもらえるような問題解決の手助けをしたいと思って裁判官になりました。

伊達 すごいね。なかなかできませんよ。

富澤 M-1の審査員だってしんどいのにも…。でも、刑事裁判だから、死刑判決を下す事件もあったりするんですよ。

野原 そうですね。私は死刑判決の宣告をした経験はないのですが、被告人にとっては懲役1年でも人生が変わってしまう重大事です。なので、判決を決めるときはやっぱり悩みます。そのときに社会の一員である裁判員の皆さんと議論すると、私たち裁判官も勇気づけられますし、いい意味で自分たちの考え方が変わる機会にもなっています。



裁判員裁判法廷。モニターなどの機材が特徴

富澤 裁判員の候補者になったら、必ず裁判所に行かないといけないんですか。

佐藤 裁判員制度は国民の皆さんの良識や感覚を反映させて、裁判をより良くしようというものですので、裁判員の候補者に選ばれた方には、できる限り裁判所に来ていただくようお願いしています。もちろん、お仕事やご家庭の都合もありますので、

一定の場合には辞退ができますが、ご都合がつく限りは、ぜひご参加いただくと嬉しいです。

伊達 でも、裁判員になったりすると、きっと事件の被害者の話を聞いたりして、精神的につらかったり、被害者がかわいそうだなという気持ちが入っちゃうと思うんですよ。

野原 そうですね。裁判員の皆さんも最初は、自分が被害者だったら、といった感情を抱かれますし、それも大事なことだと思います。他方で、刑事裁判では被告人の立場もあります。ですから、裁判員の皆さんとは、被告人の立場からも物事を見てみましょうという話をします。そうすると、裁判員の方も冷静に両方の立場を見て、議論も充実するのを感じます。



僕はスケジュール次第で。

お二人は裁判員に選ばれたら、来ていただけますか？

いやいや、こっちを優先しなきゃいけないよ。

富澤 そういえば、裁判員に選ばれた人には守秘義務しゅひぎむがあるんですね。

佐藤 はい。守秘義務といっても、たぶん皆さんが思われているほど何も言えないわけではありません。例えば、裁判員に選ばれた後、勤務先にどんな事件で選ばれたかを話すことは問題ありません。ただ、守秘義務は、評議で自由な議論をするためのものですから、議論の経過や結論を決める多数決の結果などについては守秘義務を守っていただくことになっています。

伊達 実はうちの後輩芸人が一度裁判員をやってるんですよ。

野原 公開の法廷で見聞きしたことは話していただいて構いません。ほかにも、裁判官は意外とこんな人だったよといった裁判員をやってみての感想は、むしろ宣伝していただきたいと思っています。





証人席で、タブレットへの書き込みを体験する富澤さん

野原 裁判員裁判では、裁判員として選ばれた国民の皆さんに、法廷で見て聞いて内容を理解できる審理を行うことを心掛けています。この法廷にあるモニターなども、そのような審理のための補助ツールとして使用しています。

伊達 すごいですね。法廷中のモニターに同じものが映って、それを法廷にいる人全員が同時に見られるんですね。

佐々木 裁判員裁判では、このような法廷の中のいろんな機材を書記官が操作します。このほかにも、刑事裁判では、裁判の日程調整などをして、スムーズな進行を支えるのも仕事の一つです。

渡邊 さいばんしょじ むかん 裁判所事務官（事務官）は、裁判員の方をお迎えしたり、裁判員と裁判官が事件について議論をする評議室のセッティングなどを行い、裁判のサポートをしています。

伊達 書記官や事務官になるにはどんな資格が必要なんですか。

佐々木 裁判所の職員採用試験に合格し、採用されれば、事務官になることができます。その後、内部試験に合格して必要な研修を終えると書記官になることができます。

伊達 仕事楽しいですか。

渡邊 とてもやりがいがある仕事だと思っています。



家事事件

< 私たちのご案内します！ >



わたひき
綿引裁判官



だいとう
大東書記官



松本家裁調査官

—家庭裁判所は、非行を起こした少年について調査・審判をしたり（少年事件）、離婚や養育費、遺産分割など、夫婦や親子に関する事件（家事事件）を取り扱います。お二人には、親子に関する事件の際に活用される「児童室」をご覧いただきました。

綿引 今日は、家庭裁判所が取り扱う「家事事件」をご紹介します。

伊達 カジ？

綿引 家の事と書いて「家事」ですね。離婚が一例なのですが、夫婦が離婚をする際にお子さんの親権者をどちらに定めるか争いになることがあります。また、親権者にならなかった親御さんがお子さんと会う機会をどう設けたらよいか、という事件も家事事件に含まれます。そのような親子に関する事件に関し、実際に親御さんとお子さんとの交流の様子を見るための部屋が児童室です。

松本 この部屋では、離れて暮らしている親御さんとお子さんがふれあう様子を観察するほか、そのような機会を通じて親子の交流をサポートしたりしています。ここでの親子の様子は、行動科学の専門家である私たち家庭裁判所調査官（家裁調査官）が調査報告書という書面にまとめて裁判官に提出したり、当事者の方を読んでいただくなどして、事件解決に活用されています。

富澤（マジックミラーを見ながら）そうか、僕たちがこうやって話しているのを鏡の向こうから見るができるんですね。

松本 そうですね。あちらからは同居しているほうの親御さんが離れて暮らしている親御さんとお子さんとの交流の様子を見ることがあります。同居している親御さんは、最初はこのような交流自体に不安を感じていることが少なくありませんし、離れて暮らしている親御さんも、久しぶりにお子さんと会うときは緊張したり不安を感じていたりすることがほとんどです。

富澤 そうでしょうね。



おもちゃのチョイス、なかなかいいですね！



児童室にて。マジックミラーを見る富澤さん

松本 でも、そんな親御さんも他方の親御さんとお子さんがここで楽しく遊んでいる様子を見て、お子さんにとってはどちらの親も大事なんだということに気づき、納得して次のステップに進むきっかけになることもあるんです。



マジックミラー越しに富澤さんを見る伊達さん

伊達 (マジックミラー越しに) ほら、あそのソファに置いてあるぬいぐるみ、うちの娘、すごく大好きなんですよ。

綿引 そうなんです。伊達さんはお子さんにきちんと関わっているから、そういうことが分かるんだと思います。家裁調査官は、そういうところも含めて、親御さんとお子さんとの関わり方をよく観察しています。

最後に

——裁判所をご覧になった感想を教えてください。

伊達 実は僕、ずっと裁判を傍聴ぼうちようしてみたいなと思ってたんですよ。

富澤 しょっちゅう言ってたもんね。

伊達 そう！実は今日楽しみにしてたんです。いとこが弁護士やってたり、ひいじいちゃんが裁判官をやっていたりしたので、すごく興味があったんです。今日実際に法廷を見て、まるでドラマのセットのようでした。

富澤 ところで、児童室はどれくらい使われているんですか。

大東 この裁判所には、年間で1万件くらい、親子に関するものを含めた調停(話し合い)の事件が持ち込まれます。私たち書記官は、そのような事件の全てに関わって、さまざまな連絡調整をしたりするのですが、家裁調査官は、その中でも特に感情のもつれが大きい事件についてこの児童室なども使いながら、解決に向けて努力をしています。

富澤 そういう事件に関わっていて、嫌になったりすることはないですか。

大東 裁判所は、いろいろな人達の抱えるトラブルを解決に導くのが役割ですから、日々、真剣に事件に向き合っていくことが大事だと思っています。



富澤 僕は裁判官！仕事柄あまり感情を入れちゃいけないというか、もう何も感情のない人だと思ってました。でも、実際に会ってみると笑ってもらえるし、イメージが変わりましたね。

伊達 そうね。裁判官って固い、ガチガチな方なのかなと思ってたけど、会ってみたら真逆ですごく話しやすかったです。もし、裁判員に選ばれることがあったら、間違いなく来ますよ。

富澤 被告人で来るかもしれないけどね（笑）。でも皆さん、他人の話ばかり聞いていて嫌になりませんか。

綿引 いえいえ。当事者の方の話を一生懸命聞くことは、納得のいく事件解決のためにも重要だと思っています。



——裁判所が国民にもっと身近な存在になるためには、どうすべきでしょうか？

伊達 どうすればいいんだろう。人生において一度も来ない人の方が絶対多いですよ。

富澤 裁判所はみんなに来てほしいんですか？

野原 医者に診てもらうのと一緒で、行かなければならないときには行けるような敷居の低さというのが必要だと思っています。

伊達 なるほど。仙台の裁判所も僕たちの高校の近くにあったんですけど、建物がガチガチのコンクリート造りで「入ってくるな」という感じがしたかな。

野原 例えば、当事者として来なくても、裁判傍聴に気軽に来ていただいて、裁判で物事が解決される仕組みや、あるいは正義ってなんだろうとか、そういうことを考えるきっかけになってもらえたらいいですね。

伊達 傍聴は小学生でもできるんですか。

佐藤 傍聴には基本的に年齢制限はありません。夏休みには親子連れで来たり、学校の先生が生徒を連れて来たりということもあります。

伊達 子どもたちはどう思うんだろうな。

富澤 そういうことを通じて、裁判所に入りやすくするのはいいことじゃないかな。そうすれば、裁判を見られるなら自分も見てみようかということに繋がりますよね。

——いかがでしたでしょうか。私たちは、より多くの皆さんに裁判所の役割や裁判所を支える人達を知っていただきたいと思っています。皆さんもぜひ一度、裁判所の見学にいらっしゃってみませんか。



サンドウィッチマンのお二人、ありがとうございました！